

ネイティブベーカリー酵母 (*S. cerevisiae*) 3-ホスホグリセリン酸キナーゼ

Cat. No. NATE-0006

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明 ホスホグリセリン酸キナーゼ (EC 2.7.2.3) (PGK) は、1,3-ビスホスホグリセリン酸 (1,3-BPG) から ADP へのリン酸基の可逆的な転移を触媒する酵素です。この反応により、3-ホスホグリセリン酸 (3-PG) と ATP が生成されます。すべてのキナーゼと同様に、PGK は転移酵素です。PGK は解糖系において主要な酵素であり、解糖経路の最初の ATP 生成ステップで使用されます。糖新生においては、PGK によって触媒される反応は逆方向に進行し、ADP と 1,3-BPG を生成します。

用途 3-ホスホグリセリン酸キナーゼは、1,3-ジホスホグリセリン酸からADPへのリン酸基の転送を触媒することによってATPを生成します。3-ホスホグリセリン酸キナーゼは、解糖系および糖新生の研究に使用されます。また、低分子量GTP結合タンパク質やグリセルアルデヒド-3-リン酸脱水素酵素の阻害メカニズムの研究にも使用されています。この酵素は、グリセルアルデヒド-3-リン酸脱水素酵素のアッセイに使用されています。

別名 PGK; 3-PGK; ATP-3-ホスホ-D-グリセレート-1-ホスホトランスフェラーゼ; ATP:D-3-ホスホグリセレート 1-ホスホトランスフェラーゼ; 3-ホスホグリセレートキナーゼ; 3-ホスホグリセレートホスホキナーゼ; 3-ホスホグリセリン酸キナーゼ; 3-ホスホグリセリン酸ホスホキナーゼ; 3-ホスホグリセリンキナーゼ; グリセレート 3-リン酸キナーゼ; グリセロリン酸キナーゼ; ホスホグリセリン酸キナーゼ; ホスホグリセリンキナーゼ; ホスホグリセロキナーゼ; EC 2.7.2.3

製品情報

由来 ベーカリー酵母 (*S. cerevisiae*)

形態 硫酸アンモニウム懸濁液

EC番号 EC 2.7.2.3

CAS登録番号 9001-83-6

活性 > 1000 ユニット/mg タンパク質

単位定義 1ユニットは、pH 6.9、25°Cで1分あたり1.0 μ moleの1,3-ジリン酸グリセリン酸を3-リン酸グリセリン酸に変換します。

保管・発送情報

保存方法 2-8°C